

# 継続的な点検・評価・改善の仕組みについて

資料 - 3①

平成30年8月22日

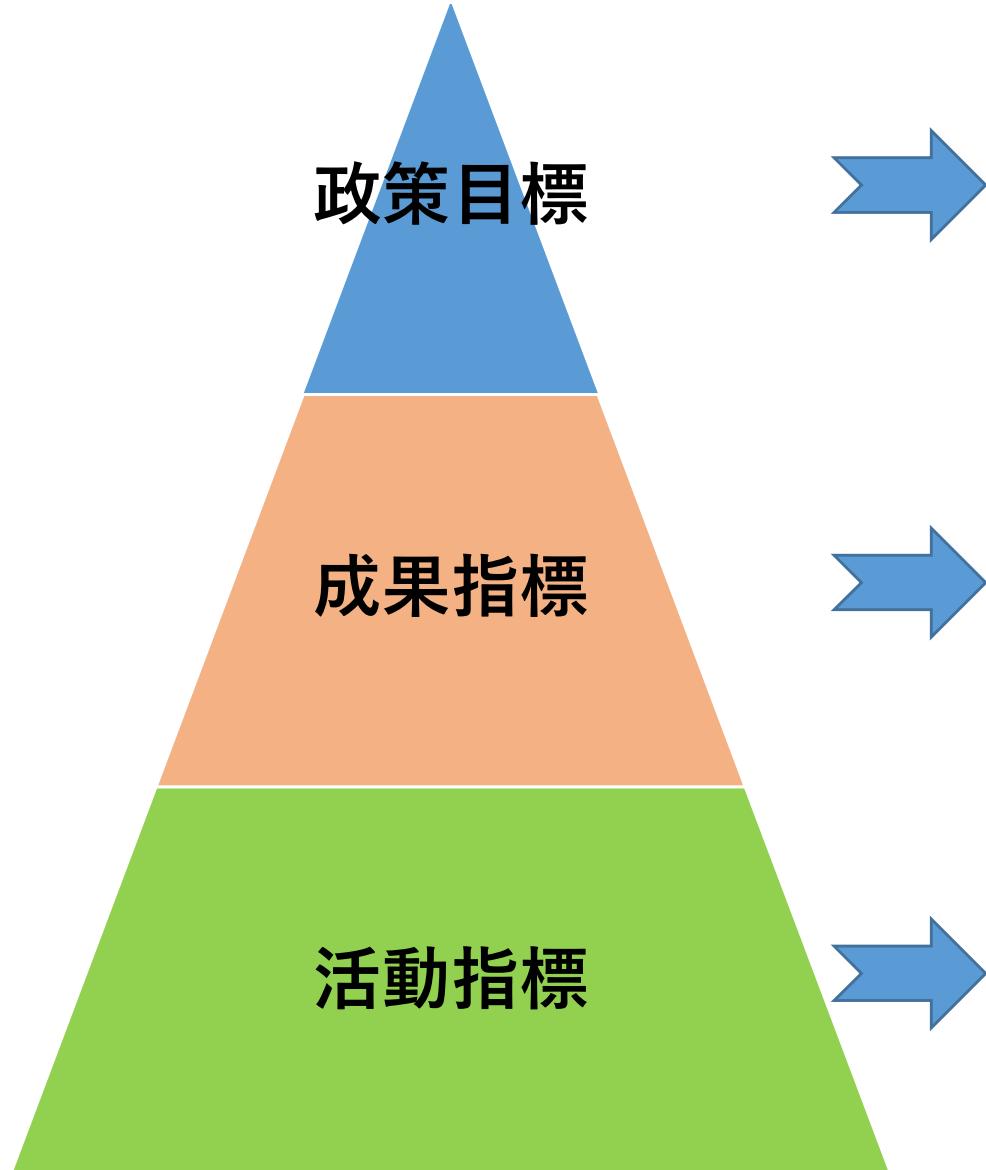
木津川市廃棄物減量等推進審議会

## 1. 基本的な仕組み



## 2. 点検・評価の基準

3段階で基準を設定し、体系的に実施します。



最も上位の指標で、目標とするものです。  
今回は、各年度の

「家庭系可燃ごみの排出原単位 (g／人・日)」  
が、政策目標となります。

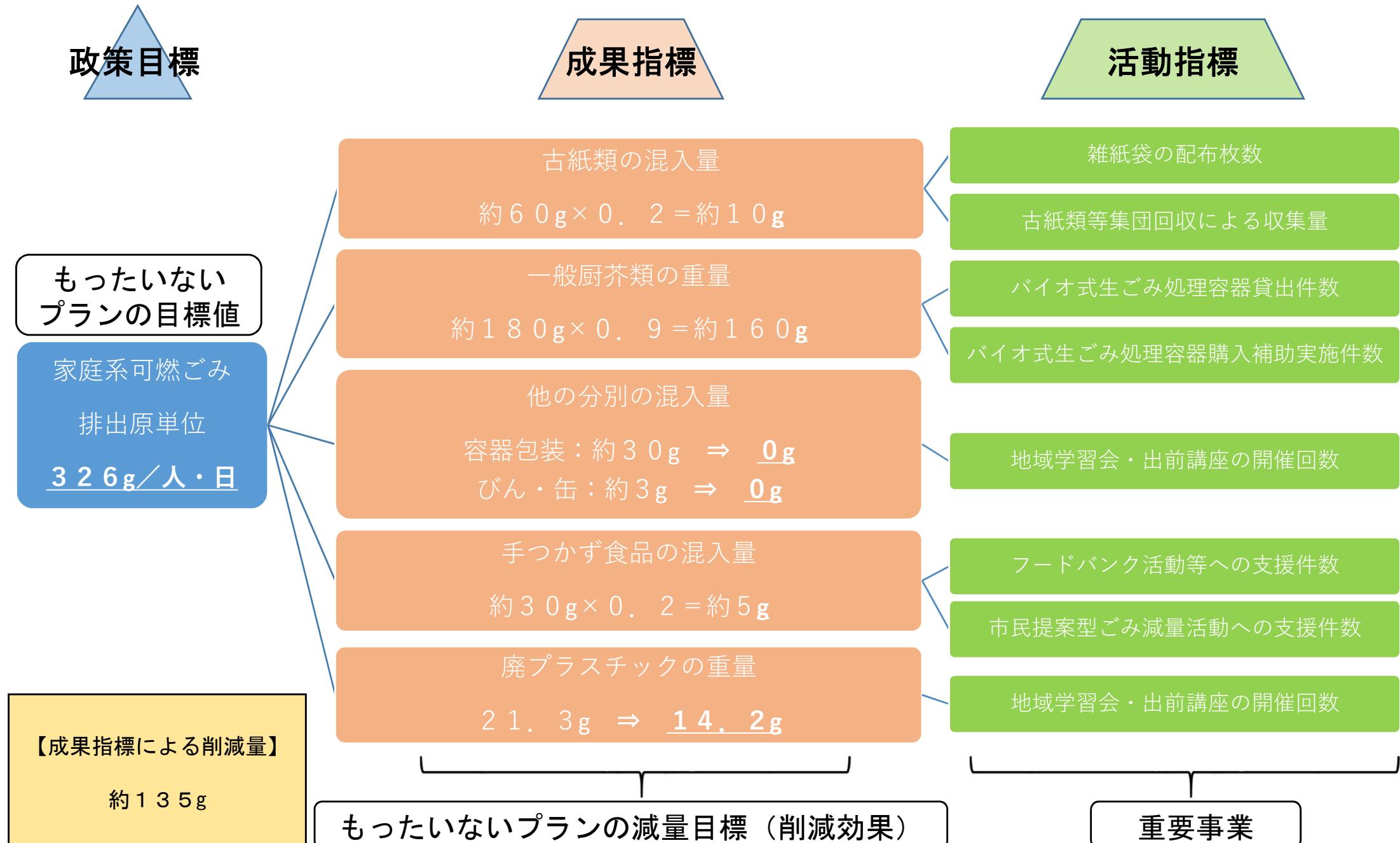
政策目標の内訳を構成する指標です。  
今回は、家庭系可燃ごみ全体を30%削減する政策目標に対して、「何が」「どれだけ」削減されたかを成果指標とします。

また、成果指標は、活動指標を達成した場合に発現が期待される事業の効果です。

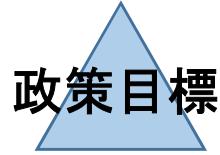
各事業の活動量の目標です。  
重要事業について、「何を」「どれだけ」実施するかを活動指標とします。

活動指標を達成したにも関わらず、関連する成果指標が改善されない場合、事業が効果的でない又は活動指標が不十分であることが疑われます。

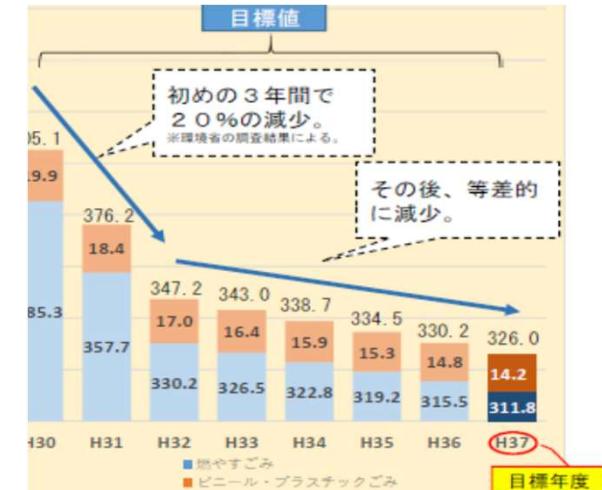
### 3. 目標と指標の関係性（イメージ：平成37年度）



## 4. 各年度の基準の設定



現状から3年間で20%減少させ、その後は目標年度まで等差的に減少させます。  
《資料－1 スライド1》



現状(H27組成調査)から平成37年度の成果指標まで、政策目標の各年度の減少割合と同様に減少させます。  
※H27組成調査が、最新のごみの組成に関する調査結果です。

また、新たに追加するべき指標や削除するべき指標があれば、答申へ反映させます。

成果指標を評価するため、毎年、ごみの組成調査を実施します。

毎年10月ごろ



ごみ減量に向けた事業の検討（議題2）において設定した、重要事業の事業量を活動指標とします。

原則、毎年同じ数量ですが、点検・評価の結果、現状の目標事業量が低い（高い）と判断すれば変更できます。

各重要事業の点検・評価については、「事業仕分け」の方法を採用します。

※「事業仕分け」については、次回に詳しくお話しします。

## 5. 議論の進め方（論点と到達点）

### ステップ1

#### 基本的な点検・評価・改善の仕組みの確認

点検・評価・改善の基本的な仕組みについて、スライド1及び2を案として確認します。

### ステップ2

#### 政策目標と成果指標の項目を確認

政策目標については、これまでの審議会における議論の前提となっているため、検討の対象ではありません。（変更できません。）

成果指標の項目について、新たな追加や削除を検討します。

### ステップ3

#### 具体的な成果指標の設定

成果指標の各項目について、各年度の具体的な基準を設定します。  
また、新たな項目については、成果指標の計測方法についても検討します。

### ステップ4

#### 活動指標の確認

活動指標は、重要事業の事業量なので、議題2で確認できています。  
どの成果指標と関連があるか、成果指標に照らして十分な事業量かを確認します。  
また、「事業仕分け」による各重要事業の点検・評価と改善の手法について確認します。

第2回審議会  
の到達点

次回以降の  
検討テーマ